



発行:令和6年2月20日

12月定例会

- P.2 主な議案
- P.3 補正予算
- P.4 議決結果
- P.5 一般質問
- P.12 委員会活動状況・
北部ブロック議員研修会
- P.13 市民と語る会
- P.17 議会活動1年間



市議会だより

第78号

しよら



令和5年12月 定例会

●会期／12月5日から12月21日までの〔17日間〕

一般会計補正予算など議案22件、報告3件、発議2件を審議しました。

主な議案

議案第131号

庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、産前産後期間の保険税の減額措置を新たに設けるため、所要の改正を行おうとするもの

▽原案可決

議案第132号

庄原市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

農業集落排水事業及び浄化槽整備事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため、所要の改正を行おうとするもの

議案第133号

庄原市公立学校設置条例の一部を改正する条例

庄原市立川北小学校、庄原市立美古登小学校及び庄原市立八幡小学校を廃校とすることに伴い、所要の改正を行おうとするもの

▽原案可決

議案第134号

庄原市田園文化センター設置条例

庄原市田園文化センター多目的ホールの機能を庄原自治振興センターに集約し、多目的ホールを廃止するため、庄原市田園文化センター設置及

び管理条例の全部を改正しようとするもの

▽原案可決

議案第136号

指定管理者の指定について

【施設の名称】

庄原市口和交流拠点施設

（モーモー物産館）

【指定団体】

有限会社セルダムコーポレーション

議案第137号

指定管理者の指定について

【施設の名称】

庄原市西城総合運動公園

（道後山高原クロカンパーク）

【指定団体】

有限会社道後山高原サービス

議案第138号

工事請負契約の締結について

新焼却施設整備事業旧備北クリーンセンター解体工事の請負契約を締結しようとするものであるが、当該工事の予定価格が1億5,000万円以上であるため、議会の議

決を求めるもの

▽原案可決

議案第140号

庄原市職員の給与に関する条例及び庄原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和5年人事院給与勧告に伴う国家公務員の給与の改定状況を勘案し、一般職の職員の給与を改定するため、所要の改正を行おうとするもの

▽原案可決

意見書

発議第10号

核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書

核兵器のない世界に向けた国際的な機運が高まっているこの機会を逃すことなく、核兵器禁止条約の実効性を高めるために主導的役割を果たすよう求め、意見書を提出するもの

1. 核兵器禁止条約を早期に署名・批准すること

2. その上で、核保有国を含む核兵器禁止条約に署名・批准していない国に対し、署名・批准を要請すること

▽原案可決

発議第11号

パレスチナ自治区ガザ地区における人道的停戦への政府のイニシアティブを求める意見書

イスラエルとハマスに対して即時停戦のための交渉のテーブルにつくよう強く働きかけるとともに、停戦及び人道支援の速やかな実施に向けて国際社会での議論をリードすることを政府に求め、意見書を提出するもの

1. イスラエルとハマスに対して、即時停戦のための交渉のテーブルにつくよう強く働きかけること

2. イスラエル、パレスチナ双方と信頼関係を構築してきた日本が、その独自の立場を生かして、停戦及び人道支援の速やかな実施に向けて、国際社会での議論をリードすること

▽原案可決

12月
定例会

令和5年度 一般会計・ 特別会計等補正予算

原案
可決

令和5年度一般会計補正予算

	会計名	補正額	補正後の総額
議案第139号	庄原市一般会計補正予算(第6号)	2,418万1千円(追加)	316億794万9千円
議案第144号	庄原市一般会計補正予算(第7号)	8億9,161万6千円(追加)	

●一般会計補正予算(第6号)の主な内容

事業名【補正額】	補正内容
商工振興事業 【2,418万1千円追加】	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した庄原市エネルギー・物価高騰対策事業者支援金について、申請件数の増加に伴い増額するもの。

●一般会計補正予算(第7号)の主な内容

事業名【補正額】	補正内容
低所得世帯臨時生活支援金事業 (住民税非課税世帯) 【3億1,910万4千円追加】	令和5年度住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円の生活支援金を給付するもの。(令和5年6月補正で予算化した3万円給付と合わせて10万円分の支援を行うもの)
低所得世帯臨時生活支援金事業 (家計急変世帯) 【105万円追加】	住民税非課税世帯に対する臨時生活支援金(1世帯7万円)の対象とならない世帯で、予期せず家計が急変し、住民税が非課税の世帯と同様の事情にあると認められる世帯に対し、1世帯当たり7万円の生活支援金を給付するもの。
介護・障害福祉サービス事業者等 物価高騰対策支援金事業 【2,316万3千円追加】	報酬等が公的制度により決定される介護・障害福祉サービス事業を運営する市内の介護・障害福祉サービス事業所運営法人に対し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う負担増の一部を支援するもの。
子育て世帯支援臨時給付金事業 【4,232万2千円追加】	物価高騰等の影響を受ける子育て世帯への支援として、児童手当の支給対象となる児童及び高校生等を養育する保護者に対し、児童一人当たり1万円を支給するもの。
配合飼料等高騰対策支援金事業 【5,709万9千円追加】	配合飼料等の価格上昇に伴う農家負担額の増加分の一部を支援(1トン当たり5千円)するもの。

●令和5年度特別会計・企業会計補正予算

	会計名	補正額	補正後の総額
議案第145号	庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	807万3千円追加	37億9,599万3千円
議案第146号	庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	68万6千円減額	8,267万5千円
議案第147号	庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	51万9千円追加	7億932万9千円
議案第148号	庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	6,046万4千円追加	63億6,153万8千円
議案第149号	庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	201万3千円減額	5,757万4千円
議案第150号	庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	195万4千円追加	3億9,139万円
議案第151号	庄原市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	24万9千円減額	2億4,173万6千円
議案第152号	庄原市下水道事業会計補正予算(第2号)	補正額	補正後の総額
	収益的收入	46万5千円追加	9億7,045万8千円
	収益的支出	194万8千円追加	8億9,079万3千円
	資本的收入	123万6千円追加	5億5,850万9千円
	資本的支出	24万7千円減額	6億4,178万8千円

令和5年12月

定例会議決結果

賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
12月5日	議案	131	庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
		132	庄原市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		133	庄原市公立学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決
		134	庄原市田園文化センター設置条例	原案可決
		136	指定管理者の指定について	原案可決
		137	指定管理者の指定について	原案可決
		138	工事請負契約の締結について	原案可決
		139	令和5年度庄原市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
12月15日	議案	140	庄原市職員の給与に関する条例及び庄原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		141	庄原市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		142	庄原市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		143	庄原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
12月21日	議案	135	広島県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更及び広島県市町総合事務組合規約の変更について	原案可決
		144	令和5年度庄原市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
		145	令和5年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		146	令和5年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	原案可決
		147	令和5年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		148	令和5年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		149	令和5年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		150	令和5年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		151	令和5年度庄原市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		152	令和5年度庄原市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
	発議	10	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書	原案可決
		11	パレスチナ自治区ガザ地区における人道的停戦への政府のイニシアティブを求める意見書	原案可決

一般質問

12月定例会では、12名が個人質問を行いました。



答 大会の時は、参加者が大変多くなるため、更衣室とともに仮設トイレを増設するなど対応しているが、管理棟の常設トイレは、設置から28年が経過し、老朽化のため水の流れが悪くなっており、これまでも配管に薬剤を注入するなどして、対応をしている。

また、トイレの洋式化は、ほかの

問 4年ぶりに制限のない大会として約4千人の来場者で、第24回ひろしまクロスカントリー大会が開催された。

一方、多くの来場者がトイレを集中して使用されたことで、旧式トイレの水洗がオーバーフローする等、利用し難い課題が見られた。

素晴らしい環境での体験を持ち帰ってもらうため、改修は必要と考えるが見解を伺う。

庄原市西城総合運動公園
(道後山高原クロカンパーク)
内のトイレ改修について



よころ まさゆき
横路 政之 議員

一般質問の
動画は
こちらから



その他の質問
○奨学金返還支援による若者の定着の推進について

答 県が行う狩猟免許試験は、例年6月から9月初旬の間に、県内9カ所の会場で実施され、本市では、県庄原庁舎を会場に年1回の試験日が設けられている。

しかし、近年、農作物への被害拡大にともない、わな猟の狩猟免許を希望される方も多い。試験期間が限定されていることを踏まえ、農繁期以外での開催に加え、本市を会場とした複数回の開催を要望していく。

問 広島県が実施している、狩猟免許試験が農繁期の6月～9月に実施されることについて、農閑期に実施してほしいとの意見があった。

広島県に最適な試験日時を要望すべきと考えるが見解を伺う。

鳥獣被害対策について

社会体育施設の整備とあわせ、総合的に検討していく。



う え だ と よ ひ こ
市江田豊彦 議員

一般質問の
動画は
こちらから



2024年度

予算編成方針について

問 市長は、新年度予算編成の基
本方針として、現下の情勢を
捉え機動的対応をすること、最重要
課題である人口減少の抑制、災害復
旧の継続、抑制してきた普通建設事
業の実施、本市の将来像を見据えた
長期総合計画をはじめ諸計画の確実
な実施を目指すとしてされている。

しかし、本市の人口減少の進行は、
加速度的で、展望がなかなか見えな
いとの声を聞く。

どのようなまちを目指しているの
か、市民としっかり共有したイメー
ジを持ち、「メリハリ」のある内容を
示すことが必要と思うが、見解を伺
う。

答

10年先を見据え、各分野での
「庄原いちばんづくり」の継続
と進化について、「地域産業」では、
市内へ誘致した製材工場を核とした、
儲かる循環型林業を確立させ林業の

再生を図り、農畜産物のさらなるブ
ランド化を進め、農家所得を向上さ
せることで、本市の基幹産業を稼ぐ
産業とし、これを基盤として、商工
業等でも波及効果を生み出していく。

「暮らしの安心」では、子育て支援
施設等の整備に加え、子どもをはじ
めとする多世代が集える場を整備し、
より一層子どもを産み・育てる環境
づくりを進める。また、地域医療の
維持確保や医療・福祉・介護の分野
へデジタル技術を導入し、市街地・
支所周辺の都市機能・地域拠点の維
持・強化など、20年、30年先を見据
えたコンパクトなまちづくりなどに
も取り組むことで、誰もが安心して
暮らし続けていただくための環境づ
くりを進める。

「にぎわいと活力」では、若者を中
心とした移住者をさらに受け入れる
ため、庄原ファンクラブの取り組み
を大きく展開し、若者を庄原に呼び
込む仕組みをつくり、本市にとつて
なくてはならない存在である、県立
広島大学庄原キャンパスと強力に連
携し、将来のまちづくりに参画いた
だく取り組みなどを進める。

その他の質問

○教育条件整備において最も大事な
教職員の実態について



くにとし ともふみ
國利 知史 議員

一般質問の
動画は
こちらから



先進過疎地対応型Maasの
現状と課題について

問 Maasとは移動手段のみなら
ず、物流や観光に至るまでを
総合的に繋ぐものであり、人口減少
や高齢化が深刻な本市において必要
な取り組みだと考える。

引き続きMaas本格導入に向け
て市の関りが必要と思うが、現状と
課題、今後の計画について伺う。

答

本市が構成員として参画する
庄原Maas検討協議会の「先
進過疎地対応型Maas」は、人口
減少や高齢化が進行する中、地域モ
ビリティと地域経済の活性化を目的
として、交通に関するさまざまな事
業を実施されている。

これまで、庄原Maas検討協議
会では、令和元年度の設立以降、AI
デマンド交通の実証運行や、市内の
交通と観光の情報案内窓口の設置な
どに取り組まれている。
本市は、令和3年度に広島県のM

aaS推進事業を活用し、利用者の
利便性向上と運行の効率化を目的と
して、東城地域でデジタル技術を用
いた、予約制のバス・タクシーの実
証運行を実施した。

本年度は、実証運行の成果と課題
を踏まえ、インターネットによる乗
車予約の改善に加え、乗降場所の増
設による利便性の向上を図るなど、
同地域でモデル運行事業に取り組ん
でいる。

今後は、モデル運行から社会実装
に向けた検討を行うほか、引き続き、
地域公共交通計画にもとづき、関係
団体などと協議を行うとともに、先
進事例の調査・研究を行う中で、地
域の実状に応じた最適な交通手段の
検討・導入に取り組んでいく。



その他の質問

○JR芸備線再構築協議会での協議
を含む今後の対応について

一般質問

問 小学校の統合により廃校が増加している。
廃校が確定した小学校の再活用を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答 施設の利活用を図る場合には、平成27年度に策定した「庄原市旧学校施設の利活用方針」に、地域の雇用の創出や地域の活性化、福祉の増進が図られる事業によることと示されており、これまでに森林体験交流施設や自治振興センターなどへの転用、社会福祉法人等への貸付などにより、有効的な利活用を進めてきた。こうした中、今定例会でご議決いただいた、「学校施設設置管理条例」の一部改正により、新たに3つの小学校が廃校となったが、いずれの学校も市内部での転用や、地元自治振興区での利活用の希望がなかったことから、民間による活用の可能性も視野に入れ、今後も「利活用方針」に沿った方策を検討していく。

廃校小学校の施設活用について



ふくやま けんじ 議員
福山 権二

一般質問の動画はこちら



林業振興について

問 平成25年（2013年）3月策定の「庄原市林業振興計画」が本年3月に計画期間を終了している。

この計画の成果、課題等の総括をどのように考えているのか伺う。

答 計画期間中の令和元年度には、「森林経営管理法」と「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行され、森林所有者と市町村の森林管理に係る責務が明確化された。

今後の林業振興の方向性は、県内最大の森林面積を有し、県内一の蓄積量を誇るヒノキなど本市の豊富な森林資源を活用することで、森林所有者の利益還元につなげていくことが必要であると考えている。

その第一歩として、ウッドワン・フォレストワンの製材所が稼働すると、庄原産材の活用が推進され、商品化やブランド化につながり森林所有者の所得向上に寄与するものだと考えている。

その他の質問

○「庄原いちばんづき」について
○子どもの権利条例について

本市の次代につなぐ輝く農業について



まえだ ちえ 議員
前田 智永

一般質問の動画はこちら



問 本市が目指す姿である「農業が支える定住社会の構築、次代につなぐ輝く農業」を念頭に置いた、基幹産業である農業の繁栄のために具体的な取り組みをすすめる必要があると考える。

①農業における後継者不足、労働力不足に対する取り組みを伺う。
②元氣あふれる「ひと」づくりの中で農業関連学校の生徒、学生やUターン・リターンなど新規農業希望者の育成、支援の現状と課題を伺う。
③国も推進している1日農業バイトのマッチング事業に取り組みすべきと考えるが見解を伺う。
④地域計画の策定は市民にどのような影響があるのか伺う。

答 ①後継者不足に特化した具体的な施策はないが、国の制度による新規就農者育成総合対策事業の活用と、市の独自制度をもって、

新規就農者の育成・確保に取り組んでいる。また、労働力不足への対応として、スマート農業技術による省力化や軽労化技術の導入等、推進体制の整備に取り組むこととしている。

②新規就農者の掘り起しに向け、就農フェアへの参加や、庄原実業高校などで新規就農施策の説明を行っているが、状況は、令和6年度末に83名とする目標に対し、令和4年度末時点で65名となっており、目標達成に向けた取り組みが必要となっている。引き続き体験ツアーなどにも取り組み、新規就農希望者の確保につなげていく。

③本市は、庄原ファンクラブを通じて、農業に興味がある方を対象に、お手伝いプロジェクトなどの取り組みを開始したところであり、今後もマッチング事業の取り組みを推進していく。

④地域計画の策定にあたり、地域での話し合いで将来の農地維持に係る担い手の検討などが行われ、1筆ごとに将来の耕作者を定める目標地図を作成することで、農地管理の方向を定めることができ、地域内の集約化が図られることとなる。制度改正により、地域計画策定後は、農地法第3条の許可を除き、農地バンクを通さない貸し借りができなくなり、今後、手続きに係る負担が増加することが懸念される。



さかもと よしあき
坂本 義明 議員

一般質問の
動画は
こちらから



有害鳥獣対策について

問

①捕獲イノシシ及びシカ1頭あたり5,000円の自衛捕獲報奨金を増額し捕獲を推進すべきと考えるが見解を伺う。

②当初予算説明において、有害鳥獣処理施設は計画頭数を大幅に超えるイノシシの受け入れを行っており、また、シカの処理が困難であるため、施設設計の検討を行うとあった。現在、どのような検討をされているのか伺う。

答

①自衛捕獲に対する報奨金は、県内23市町の内11市町で交付され、本市では、イノシシおよびシカ1頭あたり5,000円を交付している。

平成29年度には、有害鳥獣処理施設を整備しており、自衛捕獲されたイノシシの搬入状況は、令和2年度の105頭から、本年11月14日現在では、183頭と増加しているところである。

処理施設で食肉加工された場合には、処理施設の業務を委託している庄原市農林振興公社が、1頭あたり2,000円または、4,500円で買い入れ、食肉1kgあたり50円から1,000円を支払っている現状もあり、捕獲者の処理負担の軽減とあわせ、捕獲意欲の向上につながっているものと受け止めている。

②イノシシの搬入頭数は、整備当初に年間390頭を想定していたが、現在は想定の数を超えている状況となっているため、現施設の規模、機能では作業従事者への負担が大きく、食肉加工への対応が困難となり、やむなく廃棄しなければならぬ課題が生じている。

また、現在の処理施設はシカの受け入れを想定した構造や設備となっていないため、受け入れが困難な状況である。

こうした課題に対応するため、本年度より新たな処理施設の整備の検討に着手した。年間でイノシシ700頭、シカ120頭の受け入れと食肉加工が可能となる施設規模を想定し、有害鳥獣のさらなる捕獲促進により、農作物への被害低減を図るため、施設の候補地などを含め、整備計画の策定を進めている。



たかにぐち たかあき
谷口 隆明 議員

一般質問の
動画は
こちらから



市民の暮らしを
守ることを最優先に

問

①庄原市の基幹産業である農業はかつてなく厳しい状況にある。

関係者の声を聞いて市独自の農家に届く支援策を行うべきと考えるが見解を伺う。

②価格高騰が続く中、高齢者家庭や生活困窮者への福祉灯油の支給を実施すべきではないか。

答

①本市は、農業団体からの要望などにもとづき、和牛子牛と枝肉価格の下落や、畜産飼料高騰に対する農家への支援を行っており、今後も必要な施策を講じる。

②本市では、「重点支援地方交付金」を活用して、特に原油価格・物価高騰の影響を受けやすい住民税非課税世帯に対し、負担の軽減を目的として、一世帯あたり7万円の給付を実施するよう準備している。

地方ローカル線の
存在意義を高く掲げて

問

①JＲ芸備線の再構築協議会が設置されることになるが、国の責任を明確にせずに、自治体と事業者で協議せよ、というのは問題だと考えるが見解を伺う。

②解決策として上下分離方式が良い方法だが、「下」は、ヨーロッパのように国が責任をもつ方向をめざすべきと考えるが見解を伺う。

答

①国土交通省中国運輸局が行った再構築協議会の組織に関する意見聴取で、まずは国で、鉄道の広域ネットワークの方向性をはじめ、内部補助や鉄道の特性の考え方を示していただきたいとの意見を述べている。

②本市はこれまで、広島県市長会などを通じ、ローカル鉄道の運行経費に国の支援が含まれていないため、採算の確保が厳しい過疎地域でも持続可能な地域公共交通として事業が継続されるよう、国鉄改革の経緯や大臣指針を踏まえ、国が支援すべきであると要望してきた。

その他の質問

○医療法人社団光仁会の撤退と新法人の設立について

一般質問

このため、「遊YOOさろん東城」は、施設の老朽化による修繕経費の増加に加え、以前よりトイレや利便性の改善などに対し、利用者の皆々

「リストアステーション」は、平成16年に物産館とトイレの改修を実施しているが、「遊YOOさろん東城」はこの間、大規模な改修等を行っていない状況である。

「リストアステーション」は、平成16年に物産館とトイレの改修を実施しているが、「遊YOOさろん東城」はこの間、大規模な改修等を行っていない状況である。

本市の道の駅の更新整備について、どのように考えているのか市長の見解を伺う。

道の駅は、現在、「地方創生・観光を加速する拠点へ+ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献」という新たな整備が求められている。

道の駅等の観光施設のあり方について



まさの 政野 議員

一般質問の動画はこちら



まずはこちらした至学館大学との取り組みを基盤として、必要な環境整備に向けた調査・研究を進め、さらにはほかの大学・高校等への展開を図り、スポーツを生かしたにぎわいの創出につなげていく。

至学館大学は健康スポーツ科の部活動が盛んであることから、本年6月にさまざまな分野で協力する包括連携協定を締結し、スポーツ分野での具体的な連携について協議を進めている。

至学館大学は健康スポーツ科の部活動が盛んであることから、本年6月にさまざまな分野で協力する包括連携協定を締結し、スポーツ分野での具体的な連携について協議を進めている。

スポーツによるまちづくりは、競技振興と地域振興の好循環をもたらすと認識している。第2期長期総合計画の実施計画で、令和6年度から予定されている「スポーツ合宿推進事業」の施設整備の調査・検討について、現段階ではどのように考えているのか市長の見解を伺う。

スポーツによるまちづくりについて

んからご意見もいただいております。施設整備のあり方を含め、計画策定に着手していく。

近年の捕獲頭数の状況は、令和2年度が2,372頭、令和3年度では1,688頭と減少したが、令和

前年同期と比較すると、イノシシの捕獲頭数が47・8%増、処理施設への搬入頭数は87・7%増、食肉加工頭数は57・8%増となっている。

今年度のイノシシの捕獲頭数は、11月14日現在、2,410頭、有害鳥獣処理施設への搬入は768頭で、そのうち食肉用として加工処理された頭数は442頭である。

シカやサル、クマなどの生息地が確実に広がっているように感じられる。鳥獣被害により、耕作できなくなり、人の手が入らなくなつた土地がさらに害獣の生息域になるという悪循環が現実化している状況で、今後の対策につながる取り組みについて伺う。

鳥獣被害対策について



きつかわ みちや 吉川 議員

一般質問の動画はこちら



今年度水張りを行った水田は、11月末現在で水張要件の約770ヘクタールの内、約0・2ヘクタールとなっている。

水田については、保水ができずたん水管理ができない農地や、用水路が使用できない場合もあると想定され、水を貯めるには、水路や基盤の工事が必要な場合もある。

水田については、保水ができずたん水管理ができない農地や、用水路が使用できない場合もあると想定され、水を貯めるには、水路や基盤の工事が必要な場合もある。

農業従事者は、生産コストの上昇の中、今後の見通しや生産計画に大きな影響を与える当該事業の厳格運用について危機感を持っている。特に、5年に1回の水張要件が本市の農業にどのような影響があると考えておられるか伺う。

水田活用直接支払交付金の厳格化に伴う本市農業への影響について

4年度には1,808頭に増加している。捕獲頭数が大幅に増加した翌年度には減少となるが、その後再び増加に転じる傾向がある。



しま まこと
五島 誠 議員

一般質問の
動画は
こちらから



本市の働き方改革について

問

①本市の働き方改革の取り組みについて伺う。市職員の離職者が多いと感じているが、職員がいきいきと働ける職場となっているのか見解を伺う。

②市役所内の業務における情報化、デジタル化の進捗、課題、今後の展望について伺う。

答

①近年、自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応などにより、休暇の取得率や時間外勤務の縮減は目標の達成には至っていないが、本年10月からは、一斉定時退庁日の新たな取り組みを開始するなど、総労働時間の縮減に努めている。

育児休業の取得は、「子育て支援ハンドブック」により、制度の啓発や利用促進に努め、仕事と家庭の両立をテーマとした集合型研修なども実施しており、県内でも高い取得率となっている。

職員の離職は、個々の働き方に対する意識が変化してきている中、年代や理由はさまざま、出身地の自治体に採用されたことによる離職や他の職への転職、結婚や家庭の事情などによるものとなっている。

②令和3年度から令和7年度までを計画期間とした、「第2期庄原地域情報化計画」にもとづき、テレワーク環境の整備やRPA導入事務の拡大、タブレット端末の導入と総合行政ネットワークの無線化によるペーパーレス化などに取り組み、行政事務の効率化を図っている。

新たな仕組みを導入する際には、制度設計や業務プロセスの見直しと再構築、セキュリティの強化などが必須となり、そうした課題解決に長けた専門人材の確保が全国的に課題となっている。

この状況に対応するため、広島県と県内各市町が参画する専門人材を共有する取り組みについて、本市も活用を予定している。

その他の質問

○少子化対策の推進について

○いざなぎカードの効果、展望について



あかぎ ただとし
赤木 忠徳 議員

一般質問の
動画は
こちらから



景気対策は、即効性のある施策をすべき

施策をすべき

問

先日、夜に庄原市内のある飲食店に入ってみると、寂しい状況だった。

最近の景気動向をお聞きしたら、タクシーがいなかったため、飲食をとまなうお客さんは激減しているそうであった。

運転手不足を解消する対策など、一点集中にしなければ効果が現れない。こうした即効性のある景気対策を行うべきと考えるが、今後の経済対策について伺う。

答

本市は、長期化する物価・資源高騰への対応として、低所得世帯への支援や市内事業者へのエネルギー高騰支援、市民を対象としたキャッシュレスポイント支援事業など、昨年度から継続して経済対策を事業化し、市民生活や事業経営の下支えによる市内経済の維持に取り組んできた。

運転手不足は、全国的にも課題であり、マイカー社会の進展などによる移動需要の低下や、タクシー運転手の高齢化が進む一方で、それを補う担い手の確保が困難となっている。この喫緊の課題への対応として、国は、この度の補正予算で、第二種免許取得支援や採用活動支援などに取り組むとしている。

国・県の情報を得ながら、必要な対策を講じたい。

芸備線再構築協議会に参加表明した庄原市の主張は

芸備線再構築協議会に参加表明した庄原市の主張は

問

鉄道路線は繋がっているからこそ本領を発揮する。

市として、芸備線の有効な活用方法を考えるのか伺う。

答

今後、国が設置するJR芸備線の再構築協議会では、利用上の課題となっているダイヤや運行便数の改善など、利便性向上に努めていきたいと考えている。

加えて、乗り換えが不要な広域都市間を結ぶ列車を運行し、鉄道ネットワークをいかした、多方面からの誘客を図り、観光などによる交流人口の増加や地域産業の活性化に資する取組を検討し、JR芸備線の持つ多様な価値や役割を最大限活用できるように強く求めていく。

一般質問

答 平成30年度に策定した「庄原市公営住宅等長寿命化計画」では、高齢者専用住宅の建設計画はないが、計画的に市営住宅の修繕や建替えを行い、高齢者や障害者にかかわらず、誰もが安心、安全で快適に暮らせる居住の確保に取り組んでいる。

今後、「庄原市住宅基本計画」や「庄原市公営住宅等長寿命化計画」に

問 高齢化が進み、僻地での一人暮らしに不安をかかえる方が増加している。

自宅に住めないほど老朽化しているケースもある中で、高齢者向け優良賃貸住宅はすでに100%の入居となっている。

老朽化した市営住宅を、用途廃止ではなく、安心、安全で安く住みやすい市営住宅に整備する必要があると考えるがどうか。

高齢者が住みやすい
市営住宅の整備について



ふじき ゆりこ
藤木百合子 議員

一般質問の
動画は
こちらから



もとづく計画的な修繕や除却、建替えを行う中で、適切な住宅を供給し、市民の住生活の安定の確保や向上の促進に努めていく。

介護保険料、
利用料負担軽減について

問 来年度の介護保険制度改定に向け、国の審議会が利用料の2割負担の対象者拡大などを決めるとしている。

コロナ禍や物価高騰で保険料や利用料の負担増に耐えられない状況となっている。

県にも財政支援の拡充を要望し、当市の介護給付費準備基金の活用などで負担軽減が図れないか見解を伺う。

答 介護保険料は、第1号被保険者の保険料負担が過重とならないよう、全国市長会を通じ、介護保険法に定められている国庫負担割合の引き上げ等について、国への要望を継続し、適正な算定に努めている。

利用者負担は、国で軽減制度が定められていることから、令和6年度の制度改正の内容をふまえ、引き続き負担限度額認定や高額介護サービス費等の現行制度により適切に運用していく。

本会議等の傍聴に関するお願い



新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日以降「5類感染症」に位置付けられましたが、感染症拡大防止のため、本市議会では次のとおり対応しています。

ご理解とご協力をお願いいたします。

傍聴時の留意事項

- ・発熱や咳等の症状がある、体がだるい等、体調がすぐれない場合は傍聴をご遠慮ください。
- ・手洗いや咳エチケットなど、感染防止対策にご協力ください。

本会議の様子は、YouTube で配信しています。
庄原市議会のホームページから、議会中継を選択していただき、
してください。



をクリック

ただいま

調査中!

委員会の活動状況を報告します。

教育民生常任委員会行政視察

「不登校について」

本委員会では、1月12日に広島県庁を訪問し、広島県教育委員会から「広島県における不登校対策の取り組み及び方針について」のお話を伺いました。

広島県教育委員会では、「不登校の未然防止」と「社会的自立に向けた支援」の2つの柱を掲げ、①不登校SSR（スペシャルサポートルーム）推進校への支援、②広島県市にある教育支援センター（愛称：SCHOOL'S）による支援、③広島LEARNプロジェクトの実施、④フリースクール等民間団体との連携体制の構築、⑤個別最適な学び探求セミナーの5つを中心に取り組まれていました。

特に、①不登校SSR推進校への支援では、指定校に不登校傾向にある児童生徒のための教室を設け、担当教員が1名常駐し、ソファやカラフルな椅子などを設置するなど、学校らしく見えない教室・環境づくりにより、児童生

徒に安心・安全な居場所を提供することを目指しておられました。

その他の取り組みについても、学校や自宅からオンラインで授業を受けられるなど、児童生徒の個々の状況に応じて最適な学びの場を提供できるよう進めておられました。

教育民生常任委員会では、1月23日・24日に宮城県の学びの多様な化学校（いわゆる不登校特例校）への行政視察を実施しており、今後は、広島県教育委員会から伺った内容とあわせて、執行部に視察で得た知見を踏まえた提言ができるよう、調査を続けます。



広島県教育委員会から説明を受ける様子

令和5年度 広島県市議会議長会 北部ブロック議員研修会

広島県市議会議長会は、地方自治の発展と相互の提携を目的とし、広島県の各市議会議長で構成する組織です。その中で、県北部の中山間地域に位置し、様々な地域課題を同じくする庄原市・三次市・安芸高田市の3市議会の議員を対象とした北部ブロック議員研修会が三次市において開催されました。

研修会では、多様化する社会情勢や住民ニーズ等を的確に把握し、住民の方からの負託に応えるため、「住民に期待される議会になろう」と題し、「早稲田大学名誉教授 北川 正恭氏」「早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健氏」の両名を講師とした講演会が開かれ、出席した議員からは、実際の地域課題等に基づく積極的な質疑が行われました。その後、令和5年9月に供用開始された三次市三次学校給食センターを視察し、最新の設備で効率的に安心安全な給食提供が行われている状況を確認しました。

今回の研修で学んだ内容については、今後、各議員の議員活動に生かしてまいります。



市民と語る会を 開催しました！

本年度で3回目となる市民と語る会を実施しました。

市民と語る会は、市議会基本条例に基づき実施するもので、市民の皆さんの多様なご意見・ご要望等を把握し、議案審査等に活用し、政策へ反映させることを目的としています。

議員は、議長も含めた20名が5名ずつ4つの班に分かれ、分担して各会場に伺いました。

昨年度までと同様に取り組んだ自治振興区単位では、自治振興区の役員・事務局の方を中心にご協力を頂く中、11月2日から17日の期間において全21会場を実施し、計318名の方にご参加いただきました。

また、新たに本年度から「市民と語る会 井戸端スタイル」を創設しました。

この取り組みは、さらなる広聴活動強化を目的に、市民の方により気軽にお申込みいただけるよう企画したもので、5名以上お集まりいただき、開催希望日の2カ月前の月末までにお申込みいただければ、議員が希望の場所にお伺いさせていただくものです。令和5年8月から募集を開始し、全9件のお申込みをいただきました。内、4件は10月中に実施し、計37名の方にご参加いただきました。

※紙面編集時期の都合により、井戸端スタイルの令和6年1月（4件）、2月（1件）実施（予定含む）分については、以降に掲載する内容に反映できておりません。最終的な報告書及びアンケート結果は令和6年3月末を目途に「庄原市議会ホームページ」に掲載を予定しています。

※令和5年度の井戸端スタイルの申込は12月までで終了しています。

●自治振興区単位の実施状況

NO	地域	地区	開催日	会 場	テーマ	参加者数
1	庄原	庄原	11月8日(水)	庄原自治振興センター	・地域の教育環境	43名
2	庄原	高	11月8日(水)	高自治振興センター	・芸備線	7名
3	庄原	本村	11月15日(水)	本村自治振興センター	・【共通テーマ】	15名
4	庄原	峰田	11月7日(火)	峰田自治振興センター	・人口減少 ・有害鳥獣対策	20名
5	庄原	敷信	11月2日(木)	敷信自治振興センター	・【共通テーマ】	17名
6	庄原	東	11月6日(月)	東自治振興センター	・有害鳥獣対策、市道管理等	14名
7	庄原	山内	11月13日(月)	山内自治振興センター	・【共通テーマ】	8名
8	庄原	北	11月8日(水)	北自治振興センター	・フリーテーマ	6名
9	西城	西城	11月14日(火)	西城自治振興センター	・西城紫水高校 ・西城市民病院 ・芸備線	29名
10	西城	八鉢	11月13日(月)	八鉢自治振興センター	・【共通テーマ】	6名
11	東城	小奴可	11月10日(金)	小奴可自治振興センター	・【共通テーマ】	11名
12	東城	八幡	11月2日(木)	八幡自治振興センター	・地域交通	8名
13	東城	田森	11月15日(水)	田森自治振興センター	・有害鳥獣対策 ・人口減少	22名
14	東城	東城	11月9日(木)	東城自治振興センター	・地域交通 ・東城市街地公園整備	13名
15	東城	帝釈	11月7日(火)	帝釈自治振興センター	・農林業	21名
16	東城	久代	11月14日(火)	久代自治振興センター	・有害鳥獣対策 ・人口減少、高齢化	10名
17	東城	新坂	11月17日(金)	新坂自治振興センター	・【共通テーマ】	14名
18	口和	口和	11月13日(月)	口和自治振興センター	・【共通テーマ】	9名
19	高野	高野	11月9日(木)	下高自治振興センター	・地域交通 ・空き家対策	15名
20	比和	比和	11月10日(金)	比和自治振興センター	・【共通テーマ】	3名
21	総領	総領	11月6日(月)	総領自治振興センター	・人口減少	27名
合 計						318名

※【共通テーマ】①議員定数及び議員報酬に係る市民アンケート結果と議会の役割について ②人口減少社会における自治振興区活動の課題について

●井戸端スタイルの実施状況(10月実施分)

NO	申込者名	開催日	会 場	テーマ	参加者数
1	宮内自治会	10月11日(水)	宮内集会所	・これからの宮内町、私たちにできることは？	5名
2	庄原の人口問題を考える 民間会議 ひと部会	10月13日(金)	庄原市交通交流施設 地域交流室	・庄原の人口減少の実態と成果の 取り組みについて	5名
3	東三区教育推進協議会	10月24日(火)	美湯ハイツ南集会所	・東三区地区の教育環境の充実	17名
4	国際ソロプチミスト庄原	10月25日(水)	庄原市民会館	・人口減少対策について ・若者が子育てしやすい環境について ・教育現場及び医療現場の状況について	10名
合 計					37名

※ほか5件（1月実施4件、2月実施1件）の申込あり

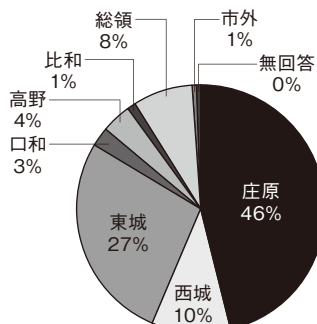
会場で配布・回収した市民と語る会アンケートより

自治振興区単位21会場、井戸端スタイル(10月実施分) 4会場における回答総数、回答率

回答総数:328名 回答率:92%(小数点以下四捨五入)

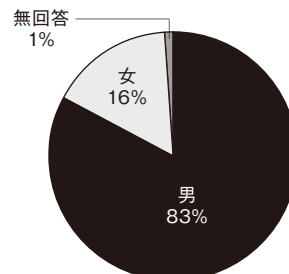
住まい

地域	回答数
庄原	152
西城	33
東城	90
口和	8
高野	13
比和	3
総領	26
市外	2
無回答	1
合計	328



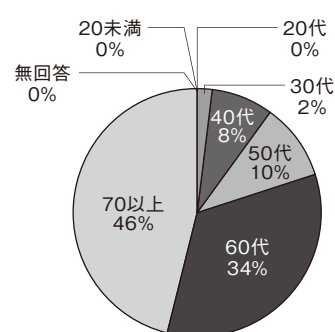
性別

性別	回答数
男	273
女	52
無回答	3
合計	328



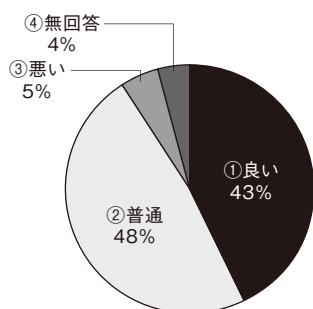
年代

年代	回答数
20未満	0
20代	1
30代	7
40代	25
50代	32
60代	111
70以上	152
無回答	0
合計	328



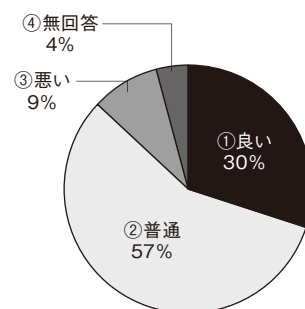
意見の出しやすさ

回答	回答数
①良い	140
②普通	158
③悪い	16
④無回答	14
合計	328



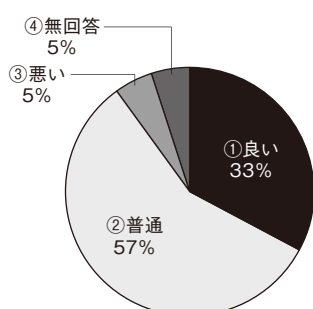
答弁のわかりやすさ

回答	回答数
①良い	98
②普通	186
③悪い	31
④無回答	13
合計	328



全体の感想

回答	回答数
①良い	109
②普通	188
③悪い	16
④無回答	15
合計	328



市民と語る会の開催、
ならびにアンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

市民と語る会(自治振興区単位)についてのご意見

- 双方向の議論でよかった。聞く耳を持った議員の方で大変よかった。
- 多くの参加者が発言できるようなテーマで設定も検討してほしい。
- 前年度に出た課題、意見について状況説明をしてほしい。
- 参加者が少ないので開催方法を一考してもよいのでは。

市民と語る会(井戸端スタイル)についてのご意見

- 議会を身近に感じられてよかった。他地域でも、開催の意味があると思う。
- 身近に議員と話ができて、とても有意義だった。「井戸端」のネーミングがとてもいい。話しやすい。
- 話しやすい場に、もっとアピールして意見交換の場を増やしていけばもっと親しみやすい市政になっていくと思う。

市議会についてのご意見

- 地域に出向いて地元の声をしっかりと聞いてほしい。
- 今回出された問題点等が良い方向に向かうようご助力を願う!
- 市民は市長と直接話をするのがない。議員の皆様にはぜひ市民の声を届けてほしい。
- 議会も市民を守るための議論を一番に考えて進めてもらいたい。
- 議員の皆さんが声をしっかりと届けたいという姿勢が見えたことは良かった。その声を実際に一つでも実現可能となるよう動いていただきたい。

各会場で寄せられた意見から
一部を抜粋してお知らせします。

共通テーマについての意見

①議員定数及び議員報酬に係る市民アンケート結果と議会の役割について

意見 議員定数・報酬削減については、常任委員会の数減らして対応してはどうか。自治振興区もスリム化している。議会も身を切る考えも必要ではないか。ただし、定数割れが生じることを危惧する面もあるがどうか。

答1 議員報酬の件では、他の類似団体の人口と財政を基準にせよとの、アンケートの意見が多くある。正解が無いので、議員間の中でも様々な意見が出ている。平成25年からの10年間で、7,000人の人口減少は無視できないと考える。定数を削減した場合の議会運営上の手法はある。議員は2つ以上の委員会に所属することが認められている。

答2 委員会の活動は幅広いテーマがある。20人は確保しておきたいとの思いがある。

意見 議会が機能すれば市はしつかりまわらと思う。子育てをするには、現在の議員報酬は少ないと感じる。また、しっかりと活動してもらうなら、議員数は20

人では少ないとも思うがどうか。

答 議員は選挙だけでなく、冠婚葬祭、イベント、付き合いや活動に経費が嵩む。若い方が議員に立候補しようと思える状況づくりも検討する必要があると考える。庄原市議会では、議員定数及び議員報酬調査特別委員会を立ち上げ、令和5年は議員に対してのアンケートを行い、今年は市民アンケートを実施した。このアンケートをもとに、人口、面積、財政状況、近隣自治体や類似自治体との比較など様々な角度から議論を重ねている。結果は今の段階では決まっていないが、まとまり次第市民の皆様に公表することとなっている。

②人口減少社会における自治振興区活動の課題について

意見 自治振興区事務局の処遇改善をして欲しい。なり手がいない。人口減少で集落維持も困難な状況にあり、喫緊の課題であるので、自治振興区制度のあり方も含め早急に何とかして欲しい。

答 人口が減少する中でも、イベントや祭り、役員会など集まりや行事が多く、役員のなり手確保に苦慮されている。また、事務局の勤務時間や処遇改善を求める声も届いており、現在、議会で議論しているところである。

意見 今後の人口動態を見ると90代が多く、60代が少なくなり、70代〜80代

が地域を支える時代が来る。今後は自治振興区をどのような形にしていくなか、考えていかなければならないがどうか。

答 自治振興区のあり方については企画建設常任委員会で調査している。組織再編を考えていかなければいけない。これからどのような形が一番良いのか探っている段階である。光ファイバーを活用して自治振興区の業務の簡素化し、人手不足を補う事も必要だと考える。

その他のテーマについての意見

■芸備線について

意見 現在のダイヤは非常に不便であり、生活交通としての利用は難しい。再構築協議会では、もう一度便利な芸備線とはどのような芸備線なのか実験をして、その後の見通しを考える必要があると思う。

答 東城発の4本のうち2本は朝早すぎて乗れない。自分で集計をしてみたが、高校生を中心に多く利用する便もある。高校生などの利用者が多い便を残しながら、一般利用者が利用しやすい便利な便を運行していくことが必要だ。

意見 他国では、鉄道は国防の面から重要な役割を果たしている。岐阜県

の東海道線は海からの攻撃を受ける可能性があるため、そうならないような工夫がされている。根本的な国を守るという面でJRに言っていかなければならない。

答 国防上の役割を果たす場合も大いにあると思う。さらには島根原発で不測の事態が生じた場合などは避難経路として必要であるし、支援物資の搬送など、今までとは違った視点での議論も必要となってくると思う。

■地域交通について

意見 昨今は高齢者の免許返納や一人暮らしの高齢者が増えている。バス停まで遠いという問題もあるがどうか。

答 Maasを導入して、バス停まで遠いので不便になったという声を聞く。既定路線はバス停でないと乗れないが、乗り合い不定期運行であればどこでも停まってくれる。路線が良いのかデマンド交通が良いのか地域の実情に合わせ、自治振興区から要望を上げてもらうことも良いかもしれない。

意見 白タクは都会よりもむしろ田舎の方が必要であると感じる。高齢者福祉施設の送迎や移送用の車は、昼間に空いていることが多い。その空いている時間を利用して車と運転手を有効活用するという事も考えられる。国もこのことに関して動きを見せている感じがある。

答 高齢者福祉施設以外にも、保育所の送迎用の車も昼間は空いている。Maasを導入し、これらの車を活かして交通空白地での有償事業はできると思う。市に届けていく。

■有害鳥獣対策について

意見 獣害対策の補助金について、一軒の家ではできないので、何軒かのグループでやらなければならぬことや、基準が分かりにくい。申請期間も決まっているので不便と感じる。

答 林業振興課に補助金申請の冊子があるので参考にしてもらいたい。ただし、件数が多ければ案分するので満額出ない可能性もある。申請が多い場合は補正予算で対応することも必要ではないかという意見もあるが、そのあたりは市にも伝えている。

意見 農地の多くがイノシシの被害を受けている。トタンは押し上げて侵入し、電柵もメッシュで高くしなければ対処できない。この状況が続くと農業がやっていけない。行政からの支援の強化を望む。数頭捕獲しただけでは間に合わない。

答 メッシュをしていても倒木の影響で毎年修理が必要であるとの情報も聞いており、捕獲に対する1頭あたりの奨励金の増額も必要と考える。国・県の補助金があるが、対象となる対応策の取れない地域があるので、引き続き

き活用しやすい制度となるよう要望を続けていく。

意見 イノシシの処理場について、土日も含め撃つたらすぐに持って行ける状況にして欲しい。また、販売している加工品の消費量の状況はどうか。

答 土日でも対応出来る環境にあるとは聞いている。また、処理場を拡大する計画もあるが、下水処理可能な環境が必要であり、場所を検討されている。

処理場で受け入れたイノシシの肉は、学校給食での使用や、食肉やペットフード、ソーセージへ加工したものを、道の駅たかのやイベントなどで販売している。販売は好調だが、予定数を超えて捕獲されており、新たな商品化のチャレンジも必要と考える。

■教育・子育て支援について

意見 永末小学校では、子どもの人数が増えているが、小学校の施設は老朽化し、想定を超える人数に対応できておらず、放課後児童クラブについては、休所中の永末保育所に対応しているなどの課題がある。市は住民基本台帳による児童数推計で、今後は減少すると説明されたが、現在通う子どもに我慢を強いるのは問題と感じているがどうか。

答 令和4年、永末小学校・放課後児童クラブ等を教育民生常任委員会で

視察し、問題意識をもっている。市内でも永末のように人数が増えている例はなく、対応すべき優先順位は高いと考える。議会として、子ども達の置かれる環境を最優先に取り組みを進める。

意見 地域にある中学校の統廃合は凍結という形になっているが、今後の状況はどうか。小学校の保護者が不安に思っている。統廃合が分かれれば引越そうという人もいるので、今後の展望を教えて欲しい。住民が安心して教育、子育てをする環境を整えるのが大切である。

答 現状は凍結と言ってよいと考えるが、住民が安心して教育、子育てをする環境を整える必要性については、その通りである。教育民生常任委員会では、今後の学校の体制について継続して話をしている。

意見 高校統廃合について、県教委は定数をたびたび変えている。高校は県の管轄だと理解しているが、市議会の教育民生常任委員会は、生徒が少人数でも取り組む考えがあるのか。

答 教育民生常任委員会では、先日もし人数に対応するための職員配置基準の見直しへの意見書を提出した。子どもが減っても対応できる環境づくりをし、子ども、保護者、地域が選択出来る環境をつくりたいと思っている。

意見 議会で他の自治体に視察に行かれ、子育て政策などを勉強されているが、庄原市でどのように実現していくのが重要であると思う。実際の程度実現できると考えるか。

答 庄原市の子育て施策は、先進地とされる自治体に負けていないが、アピールの仕方に工夫が必要と考える。兵庫県明石市では、他の予算を削り徹底的に子どもに関する予算にあて、一部不満は出ているが子育て世代の移住等成果をあげており、何かに特化した取組みも重要と考える。少子化問題は、本来、国全体で取り組むべき大きな問題だが、視察で学んだことを、一般質問や会派要望などで執行者に届けていく。

多くのご意見をいただきありがとうございました。紙面の都合上、全てを掲載することはできませんが、今後の議会運営や個々の議員活動に反映させてまいります。

今後も市民の皆さんと直接意見交換ができる、身近な議会として、様々な取り組みを行ってまいります。

令和5年
議会活動1年間

●本会議

回 数		1	2	3	4	5	計	
会 議 区 分		定例会	臨時会	定例会	定例会	定例会	6	
会 期 日 数		30日間	1日間	22日間	25日間	17日間	95日間	
開 催 日		2月21日、 3月14・15・ 22日	4月28日	6月9・26・ 27・28・ 30日	9月4・19・ 20・21・ 26・28日	12月5・13・ 14・15・ 21日	－	
審議案件	条 例	14	1	3	1	8	27	
	予 算	31		2	6	10	49	
	発 議	2	1	2	2	2	9	
	請 願							
	そ の 他	18	4	25	25	4	76	
計		65	6	32	34	24	161	
審議結果	原案可決		55	2	8	9	24	98
	修正可決							
	同 意		10	1	24	9		44
	承認			3				3
	選 任							
	許 可							
	認 定					16		16
	推 せ ん							
	否 決							
	請 願	採 択						
		趣旨採択						
		不 採 択						
継続審査								
継 続 審 査								
選 挙								
議員出席率		100%	100%	100%	95%	100%	98.5%	

●常任委員会

常任委員会	区 分	回 数		出席率	
		開会中	閉会中	開会中	閉会中
総 務	委員会	6回	4回	100.0%	91.6%
	調査会	—	1回	—	100.0%
教育民生	委員会	12回	11回	97.2%	95.4%
	調査会	—	2回	—	100.0%
企画建設	委員会	7回	5回	100.0%	97.1%
	調査会	—	1回	—	100.0%
予算決算	委員会	11回	2回	99.5%	97.3%
	調査会	—	—	—	—



●予算決算常任委員会 分科会

分科会	区 分	回 数	出席率
総 務	令和4年度決算	4回	100.0%
	令和5年度予算	4回	100.0%
教育民生	令和4年度決算	4回	100.0%
	令和5年度予算	4回	100.0%
企画建設	令和4年度決算	4回	96.4%
	令和5年度予算	4回	100.0%

●特別委員会

	回 数	出席率
議員定数及び 議員報酬調査	12回	100.0%

●その他

	回 数	出席率
議会運営委員会	26回	100.0%
議員全員協議会	16回	97.5%
議会広報委員会	8回	97.9%

議会の動き

11・12・1月

11月

6日 総務常任委員会
9日 教育民生常任委員会
20日 教育民生常任委員会
24日 議員全員協議会
27日 教育民生常任委員会
28日 議会運営委員会
議員全員協議会
29日 議員定数及び議員報酬調査特別委員会

12月

5日 議会運営委員会
第5回市議会定例会 〔初日〕
予算決算常任委員会
企画建設常任委員会
7日 総務常任委員会
教育民生常任委員会
13日 第5回市議会定例会 〔2日目〕

13日 議員定数及び議員報酬調査特別委員会
14日 第5回市議会定例会 〔3日目〕
議会運営委員会
総務常任委員会
15日 第5回市議会定例会 〔4日目〕
18日 予算決算常任委員会
教育民生常任委員会
企画建設常任委員会
21日 議会運営委員会
第5回市議会定例会 〔最終日〕
議員全員協議会
議会広報委員会
教育民生常任委員会
26日 議員定数及び議員報酬調査特別委員会

1月

9日 総務常任委員会
12日 教育民生常任委員会(行政視察)

16日 議会運営委員会
議員定数及び議員報酬調査特別委員会
19日 議会運営委員会
企画建設常任委員会
22日 議員全員協議会
議員定数及び議員報酬調査特別委員会
23日 教育民生常任委員会(行政視察)
24日 教育民生常任委員会(行政視察)
26日 第1回市議会臨時会
予算決算常任委員会
議員定数及び議員報酬調査特別委員会
29日 総務常任委員会(行政視察)

●視察受入状況

〔11月7日〕

長崎県西海市議会 厚生常任委員会
(庄原市備北グリーンセンター)

令和6年能登半島地震に伴う災害に対する義援金を送金

令和6年能登半島地震に伴う災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。
庄原市議会では、被災地域の支援のため、議員から義援金を募り、全国市議会議長会を通じて送金しました。
被災地の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

3月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
2月20日(火)	本会議
3月12日(火)	本会議【一般質問(代表)】
3月13日(水)	本会議【一般質問(個人)】
3月14日(木)	本会議【一般質問(個人)】
3月21日(木)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。
詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。
録画映像もご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。

庄原市議会 中継 検索



編集後記

今年度議会で取り組んできた市民と語る会では多くの方々のご参加とご意見を賜り、今後それぞれの議員活動に活かされていくものと思います。中でも新たな取り組みとして開催した井戸端スタイルは、9団体からの申し

令和6年の幕開けは誰もが予想しなかった大変な地震や事故に見舞われるという厳しいスタートとなりました。被害にあわれた全ての皆様にお見舞いを申し上げるとともに被災地に対し各々ができる限りの協力をしなければいけないと思います。い

込みがあり、私が班長を務めました2班も3団体と対話することができました。フランクな意見交換ができ、個別具体的な悩みや問題をそれぞれの議員の見識や経験を語りながら問題解決に向けての取り組みに繋げることができた可能性を感じました。この取り組みを来年度も更に広げ続けていければと思います。

議会広報委員会
委員長 坂本 義明
副委員長 桂藤 和夫
委員 赤木 忠徳
林 高正
五島 誠
吉川 遂也

(吉川 遂也)

《表紙写真の説明》



今回の表紙写真は、口和町で行われている伝統行事「とらへい」の様子です。